

研究紹介 Rhif 11

吉賀憲夫著『ウェールズ史の女性たち』2007年 名古屋市：晃学出版

水谷 宏

人物研究の重要性は改めて指摘するまでもない。ことのほか、わが国においては、明治以後、まったく顧みられることのなかったカムリ学（ウェールズ学）においては、その重要性はいくら強調してもし過ぎることはない。幸い、今年9月、本会の代表幹事を務めていただいている著者、吉賀憲夫氏により本書が出版された。わが国の歴史上、正に最初の快挙である。カムリ学の道を歩むものにとっては、同慶の至りであると同時に、大きな誇りでもあることは間違いない。表題が示している通り、「女性たち」を対象としての人物研究である。第1部6人、第2部3人、第3部2人、第4部2人、合計13名の「女性たち」が中心人物として扱われているが、そうした「女性たち」に纏わる「男性たち」もまた、カムリ（ウェールズ）史上、いずれも重要な位置を占めている人物ばかりである。したがって、本書は、カムリの歴史に関する主要な情報を、豊富に提供してくれているのである。おおよそ、カムリの歴史や文化、社会、言語、文学等々のあらゆる局面に関心がある者にとっては、日本語で書かれたカムリに関する最初の必読の書の一冊であることは間違いない。

著者自身によれば、「歴史には語られることのない真実や、当時の女性の社会的地位や立場などが見え隠れしている」（「あとがき」328ページ）と指摘されているが、人物について学ぶことは、その人物の生きた時代に関する情報を得ることに繋がる。第1部では、「ウェールズ史の節目に活躍し、転換期を目撃した歴史の証人ともいえる女性を選んだ」（「あとがき」328ページ）と説明されている。第2部以下に登場する女性たちも、著者なりの理由で興味を抱かれた人物であるとしても、やはり「ウェールズ史の中に光彩を放った女傑、その歴史の中にひっそりと消えていった女性たち、また、ウェールズと縁のあった有名人」たちであり、「ウェールズ史の一時期を代表する女性たち」なのである（「あとがき」329-330ページ）。事実、本書を通読することで、今まで日本ではまったくと言っていいほど「知られていない」多くの歴史上の人物にも出会うことができるのであり、また、カムリの歴史において重要な位置づけがなされるべきいくつかの事件についても、相互に関連をつけながら、学ぶことができるのである。例えば、第1部では、John Edward Lloyd (1861-1947) が、その著 *A History of Wales* (1911) において、'It was the signal for a general uprising throughout South Wales' (p. 470) と記述しているノルマン人への反抗の歴史に始まり、「ウッドストックの条約」Cytundeb Woodstock (1247), 「モンゴメリー条約」Cytundeb

Trefaldwyn (1267), 「アベルコンウイ条約」 Cytundeb Aberconwy (1277) といったイングランド王との抗争の歴史についても垣間見ることができるのであるが、そうした歴史的出来事に織り成す綾を、本書に登場するカムリの女性の生涯を通して、文献的資料の極端に限られた状況のもとにありながら、著者は見事に描いているのである。

我々のカムリ学への fframiau cyfeirio 「視点」はいくつか考えられるのであるが、カムリの歴史に学問的興味を抱き続けてこられた本書の著者は、今日までずっと、「人物」を通しての観察という視点を保持されてきたのであった。歴史の流れという縦糸に織り成している横糸を構成している人物と人物の関係をを通して、カムリの国の特質を見極めたいとの著者の思いが、本書の隅々に感じられるのである。そうした視点は、本書に限らず、著者の手による前著『旅人のウェールズ—旅行記でたどる歴史と文化と人』(2004年 名古屋市: 晃学出版)の随所に見受けられるのである。そうした著者の思いを手探りに、我々読者は、著者が取り扱っている人物が織り成している「時の流れ」を紐解いていくことにより、カムリの歴史や文化への理解を深めることが可能なのである。したがって、単に本書を読み飛ばすだけではなく、著者の手による訳書である「ウェールズの歴史—先史時代から現代までのウェールズの生活を文化」 ***A Short History of Wales, Welsh Life and Customs, from prehistoric times to the present day***, by A.H. Dodd, 1972, London: B.T. Batsford Ltd. (初版のタイトルは ***Life in Wales***) をそばにおいて精読することをお勧めする。あるいは、以下の書物を参考にされることをお勧めする。

J. Geraint Jones (1990) ***A Pocket Guide : the History of Wales***, Cardiff: University of Wales Press.

John Davies (1990) ***A History of Wales***, London: Penguin Books.

John Davies (1992) ***Hanes Cymru***, London: Penguin Books.(First Published by Allen Lane, 1990)

Meic Stephens, ed. (1998) ***The New Companion to the Literature of Wales***, Cardiff: University of Wales Press.

Sir John Edward Lloyd & R.T. Jenkins, eds. (1959)

The Dictionary Of Welsh Biography down to 1940, London: the Honourable Society of Cymmrodorion.

John Edward Lloyd (1911) ***A History of Wales, from the Earliest Times to the Edwardian Conquest***, in two volumes, London: Longmans, Green, and Co.